

特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構



## かまくら食支援研究会



### Web セミナー講習会

# 『在宅医療における栄養治療』

## ～地域一体型在宅栄養サポートの取り組み～

＜講演者＞ 佐々木淳先生（医療法人社団悠翔会理事長・診療部長）

アボットジャパンの協力をいただき、上記テーマにて web セミナーを開催いたします。

多くの方に視聴していただきたく、ご案内いたします。

改めて「食」の重要性を学び、日頃の業務に生かしていただければと思います。

対象者 **医療・介護等従事者**

開催日時 **令和2年 2月18日(火)**

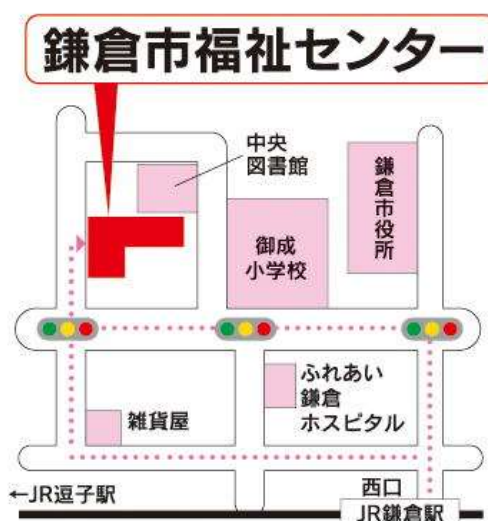
**19:00～20:30**

場 所 **鎌倉市福祉センター 2階**

**第1・2会議室**

参加費は無料です。

**インシュア H の試飲会を行います！**



共催: アボットジャパン  **Abbott**

返信用 F A X 用紙 ※ 2 月 5 日（水）までにお送りください。

（特非）かまくら地域介護支援機構行

F A X 0 4 6 7 - 4 6 - 0 0 5 9

**「在宅医療における栄養治療」**  
**～地域一体型在宅栄養サポートの取り組み～**

事業所名

---

参加者氏名

---

連絡先 T E L

---

連絡先 F A X

---

**<講演者> 佐々木淳先生（医療法人社団悠翔会理事長・診療部長）**

在宅高齢者の多くは低体重・低栄養の状態にある。これらはサルコペニアやフレイルとオーバーラップし、誤嚥性肺炎や骨折の発症や死亡の独立したリスク要因であることも明らかになりつつある。低体重・低栄養の高齢者に対する栄養治療は、高齢者の生命予後やADLを改善するのみならず、食べる喜びを通じて、QOLの改善にもつながる。しかし、現状、多くの高齢者の低体重・低栄養は放置されている。その理由は大きく3つある。不適切な医療提供体制、低栄養・低体重に対する無関心、そして地域リソースの不足である。高齢化に伴い変化する疾病構造とリスクに応じて、薬物療法や栄養指導の方向性を「ギアチェンジ」するタイミングを逃さないようにしなければならない。そして「年齢相応」という言葉の向こうに治療可能な低栄養や低体重が隠されていることを常に意識し、必要な人に、必要な栄養サポートを提供できる地域を作っていく必要がある。